

次期北海道科学技術振興計画(検討素案)のフレーム

I 基本的な考え方

策定趣旨 計画の性格 計画期間(平成30~34年度)

II 「新北海道科学技術振興戦略」(平成25~29年度)における主な取組と今後の課題

III 情勢の変化

- ◇ 大変革時代の到来(ICTの急激な進化など)
- ◇ 国・本道が抱える課題の増大と複雑化(人口減少と高齢化の急速な進行など)
- ◇ 国の第5期科学技術基本計画(平成28~32年度)の策定

IV 基本目標

科学技術の振興を通じて目指す北海道の姿

1 持続的な経済成長の実現

■本道の強みや可能性を活かした取組により、新たな価値が連続して生み出され、成長する経済

2 安全・安心な生活基盤の創造

■誰もが安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉が充実し、将来にわたって住み続けられる社会

3 環境と調和した持続可能な社会の実現

■環境と経済活動やライフスタイルが調和した持続可能な社会

貢献・寄与

V 重点プロジェクト(仮称)

科学技術が本道の独自性や優位性を発揮して、目標とする将来像の実現に貢献できるよう、特に推進すべき研究開発などを重点プロジェクトとして設定

◆食・健康・医療プロジェクト

◆先進的のものづくり事業化プロジェクト

◆環境・エネルギープロジェクト

◆AI/IoT等利活用プロジェクト

推進の
ポイント科学技術人材
の育成本格的な産学連携
の推進地域における
イノベーションの創出

VI 基本的な施策

1 研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進

4 知的財産の創造、保護・活用

2 道における研究開発等の推進

5 科学技術を支える人材の育成確保・科学技術コミュニケーション活動の促進

3 産学官金等の協働の推進

6 道内6地域における取組

VII 計画の推進

計画の取組状況などを毎年度把握し、点検・評価を行うとともに、推進状況について公表

現行計画と次期計画の項目立ての対比

(現行計画)

- 第1 基本的な考え方
 - 1 戦略策定の趣旨
 - 2 戦略の期間
- 第2 本道の科学技術を巡る諸情勢
 - 1 国の政策の動向
 - 2 道の政策の動向
- 第3 前計画(平成20~24)年度における主な取組と今後の課題(※「前計画策定後の情勢の変化」を含む)
- 第4 基本目標と推進研究分野
 - 1 基本目標
 - (1) 北海道経済の活性化・自立化の実現
 - (2) 安全・安心な生活基盤の創造
 - (3) 環境と調和した社会の創造
 - 2 推進研究分野
 - 道内6地域における取組
- 第5 基本的施策
 - 1 研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進
 - (1) 道内大学等を核とした研究開発拠点の形成
 - (2) 北海道の特性を活かした研究開発の推進
 - (3) 研究成果の企業への移転、事業化・実用化の推進
 - 2 道における研究開発等の推進
 - 3 産学官金等の協働の推進
 - 4 知的財産の創造、保護及び活用
 - 5 科学技術を支える人材の育成・確保及び科学技術コミュニケーション活動の促進
- 第6 地域イノベーションの創出に向けた取組の戦略的展開
 - 1 食・健康・医療分野
 - 2 環境・エネルギー分野
- 第7 戦略の推進体制
 - 1 推進体制 2 推進管理

(次期計画)

- I 基本的な考え方
 - 1 策定趣旨
 - 2 計画の性格
 - 3 計画期間
- ※「Ⅲ 前計画策定後の情勢の変化」のあとに資料として一覧表で掲載
- II 前計画(平成25~29)年度における主な取組と今後の課題
- III 前計画策定後の情勢の変化
- IV 基本目標
 - 1 持続的な経済成長の実現
 - 2 安全・安心な生活基盤の創造
 - 3 環境と調和した持続可能な社会の実現
- ※新規掲載 → V 重点プロジェクト(仮称)

科学技術の振興を通じて、目標とする将来像の実現に貢献できるよう、プロジェクトを設定
- VI 基本的な施策
 - 1 研究開発の充実及び研究成果の移転等の促進
 - (1) 北海道の特性を活かした研究開発の推進
 - (2) 研究開発に関する拠点の形成
 - (3) 研究成果の企業への移転、事業化・実用化の推進
 - 2 道における研究開発等の推進
 - 3 産学官金等の協働の推進
 - 4 知的財産の創造、保護及び活用
 - 5 科学技術を支える人材の育成・確保及び科学技術コミュニケーション活動の促進
 - 6 道内6地域における取組
- ※ この項目は掲載せず、「科学技術振興に関し重点的に講ずる措置」は「V 重点プロジェクト」に記載する。
- VII 計画の推進

「研究開発分野」の比較

(現行計画)

- (1) 経済活性化を支える科学技術
 - ア 食産業立国の推進
 - イ ものづくり産業
 - ウ IT、バイオなど成長先導産業

- (2) 安全・安心な暮らしづくりに貢献する科学技術
 - ア 健康・医療・福祉
 - イ 防災、減災

- (3) 環境と調和した持続的な社会の実現に貢献する科学技術
 - ア 地球環境の保全及び自然との共生
 - イ 資源の循環、有効利用及び省エネルギー

- (4) 北海道の未来を拓く科学技術
 - ア 北海道の地勢を活かした航空宇宙
 - イ 北海道らしい再生可能エネルギー等新エネルギー
 - ウ 情報技術を活用した革新的な農林水産業

(次期計画)

- ① 経済の活性化
 - ア 食料安定供給
 - イ 食関連産業
 - ウ ものづくり産業
 - エ バイオ産業
 - オ 健康長寿・医療関連産業
 - カ 環境・エネルギー産業

- ② 安全・安心な暮らしづくり
 - ア 健康・医療・福祉
 - イ 防災、減災

- ③ 環境と調和した持続可能な社会
 - ア 地球環境の保全及び自然との共生
 - イ 資源の循環、有効利用及び省エネルギー

- ④ 北海道の未来を拓く科学技術
 - ア 航空宇宙
 - イ 再生可能エネルギー等新エネルギー
 - ウ IoT、ビッグデータ、AI
 - エ スポーツ
 - オ 北極域

※ 下線した分野は、新規・拡充するもの